

令和2年度 工業「自動車整備」シラバス

県立那覇工業高等学校

| | | | | | | |
|-------|-------------|-------|-------------------|----|-----|-------|
| 教科 | 学科 | 科目名 | 学年 | 学期 | 単位数 | 必修・選択 |
| 工業 | 自動車科 | 自動車整備 | 2 | 全 | 2 | 必修 |
| 使用教科書 | 自動車整備（実教出版） | | ワークシート、サービスマニュアル他 | | | |

1 科目の目標

エンジンの分解、点検、整備および組立てに関する知識と技術や、自動車に関する材料の性質や加工法について習得し、また、整備がいかに大切であるかを理解する。そして、それらを実際に活用する能力と態度を身につける。

2 学習の方法

1. 各項目の概要を視聴覚教材にて理解し、理解したことを確認後教科書を用いてプリントを行う。
2. 写真（プロジェクタ）や現物を見て、事象をイメージする。
3. 実際に整備方法を見て習得し、論理的に理解する。
4. 各項目の最後に行われる小テストにて、知識の定着を図ると同時に、自ら学び自ら考える姿勢を身につける。

3 評価の観点や方法

| 評価の観点 | 内 容 | 評価方法 |
|-----------|---|---------------------|
| ①関心・意欲・態度 | くるま社会の自動車整備について関心を持ち、整備技術の向上に意欲的に取り組むと共に整備技術を交通の安全、環境保全、経済性の向上のために役立てようとする創造的・実践的な態度を身につけようとしている。 | ①授業態度 ②プリントの取り組み |
| ②思考・判断 | 自動車整備に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、自動車の適切な整備の仕方を判断し、創意工夫する能力を身につけている。 | ①定期考査 ②プリント |
| ③技能・表現 | 自動車を適切に整備する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、処理すると共にその成果を的確に表現できる。 | ①プリント ②発表する力 |
| ④知識・理解 | 自動車整備技術に関する基礎的な知識を身につけ、新車の整備マニュアル書を理解できる。 | ①定期考査 ②小テスト |

4 学習指導計画

| 学期 | 月 | 時間 | 学習内容 | 学習目標 | 評価方法 | 補助教材 |
|----|-----|-----|---|--|-------------------------------------|---|
| 1 | 6 | 1 2 | 第1章 自動車の整備と関係法規 第1節 整備の目的 第2節 整備の内容 第3節 道路運送車両法 第4節 自動車整備事業 第5節 自動車整備士制度 第6節 道路運送車両の保安基準 | 整備がいかに大切であるかを理解するとともに、自動車に関する仕事に従事する者だけでなく、自動車の使用者にとっても欠くことのできない知識として必要な「道路運送車両法」と、これに基づく「道路運送車両の保安基準」、「自動車点検基準」、その他の関係法規について理解する。 | ・定期テスト ・小テスト ・プリント取組 ・授業態度 | ・視聴覚教材 ・現物 ・写真 ・プリント ・サービスマニュアル |
| | 7 | | 第2章 自動車の材料と加工法 第1節 自動車材料 第2節 材料の機械的性質 第3節 鋳造 第4節 塑性加工 第5節 溶接 第6節 機械加工 第7節 表面処理 第8節 その他の加工と材料 第9節 自動車材料のリサイクル | | | |
| | 8 | 2 2 | 第3章 エンジンの整備 第1節 エンジンの点検 第2節 エンジンの分解 第3節 エンジン本体各部の点検・整備 第4節 点火装置の整備 第5節 燃料装置の整備 第6節 潤滑装置の整備 第7節 冷却装置の整備 第8節 吸・排気装置の整備 第9節 エンジンの組立と調整 第10節 ディーゼルエンジンの整備 第11節 エンジンの性能試験 | ガソリンエンジン（本体と付属装置）の分解・点検・整備・組立、ディーゼルエンジンの整備、これらのエンジンの性能試験などについて理解する。 | | |
| 9 | 3 6 | 1 0 | 1 | | 2 | 3 |
| 2 | | 1 1 | | | | |
| 3 | | 1 2 | | | | |